

平成22年度 芦屋市保健センター運営審議会会議録

日時	平成22年3月22日(火) 13:30~15:00
会場	芦屋市医師会医療センター 2階会議室
出席者	委員長 立花 久大 委員 河盛 重造 委員 多田 羅 猛 委員 広瀬 隆也 委員 仁科 睦美 委員 姉川 詔子 委員 磯森 健二 欠席委員 北井 明 欠席委員 鈴木 紀元 事務局 北口 泰弘 事務局 瀬戸山 敏子 事務局 久保田 あずさ
事務局	健康課
会議の公表	■ 公開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 議題

- ・平成22年度保健センター事業の実施結果について
- ・平成23年度保健センター事業について

(2) その他

(3) 連絡事項

2 提出資料

資料-1 平成22年度主要事業の実施結果について

資料-2 平成23年度保健センター事業について

3 審議経過

【開会】

(事務局北口) それでは定刻になりましたので、芦屋市保健センター運営審議会を開催いたします。北井委員、鈴木委員は本日欠席でございます。

この会議は、芦屋市情報公開条例に基づき会議は公開となっております。また委員の皆様のお名前・肩書き・会議録・会議録中の発言も公開となっておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは立花委員長議事進行をお願いします。

(立花委員長) お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。

はじめに資料の確認をお願いします。

それでは、議事を始めます。議題1「平成22年度保健センター事業の実施結果について」を説明願います。

(事務局瀬戸山) 日頃は、保健センター事業に大変ご協力いただきありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。それでは、資料1についてご説明いたします。

(資料1の説明)

- (立花委員長) 今の説明に質問、意見はございますか
- (河盛委員) 3歳児健診で、眼科からできるだけ4歳にちかくなってから受診してほしいという話をききますが、芦屋市ではそのような意見はありますか。
- (事務局瀬戸山) 3歳児健診の視覚健診については、できれば3歳6か月以降に受診するように言われています。
- (河盛委員) 実際にはどうですか？
- (事務局瀬戸山) 実際には、3歳児健診は3歳で案内を送付しています。
- (多田羅委員) 保健センターの事業の実績評価委員会とかはあるんですか。人数が増えてきている事業、減ってきている事業いろいろありますが、どのように評価をするのですか。
- (事務局北口) 特に評価委員会はありませんが、この審議会において評価をお願いできたらと思っております。
- (多田羅委員) 10%くらいの実施率の事業については、どのように考えていますか。
- (事務局瀬戸山) たとえばどの事業でしょうか。
- (多田羅委員) 実施率が下がってきているものがありますよね。やめるのは勇気がいると思いますが、たとえば、メタボすっきり運動教室はどうですか。
- (事務局瀬戸山) メタボすっきり運動教室は、目標受診率は30%くらいと高いのですが、特定保健指導の利用券を発行して利用する教室です。これは、利用券の通知だけです。実施率を上げるためにはどうするかとか、電話をしたり、訪問をしたりしてもっと効果をあげていかないといけないと思っています。
- (多田羅委員) 健康大学講座はどうですか。先生方に来ていただいて、この人数は少ないのではないですか。会場と人数のバランスはどのようなのですか。
- (事務局北口) 会場は、この医療センター3階で行っております。平成22年度については、受講者が30人を切ってしまい少ない状況でした。
- (多田羅委員) 数値目標とかは、ありますか。
- (事務局北口) もともと、50名を目標にしていたのですが、今回30人をきってしまった。10日間の長い期間の講座なので、参加できる人が限られることも影響していると思います。
- (立花委員長) すらっと健康支援教室はコストパフォーマンスの問題ですよね。利用率を上げる必要があるのでしょうか。
- (事務局瀬戸山) これは、厚生労働省が決められている特定保健指導で、日常生活の中で、生活を見直してもらおう事業です。メタボは自覚症状がないので、なかなか自分から来るのは難しいです。参加は65歳以上の方が多く、これから自分の健康を気をつけようと思っている方がいられています。
- (河盛委員) 実施は、平日ですか。
- (事務局瀬戸山) 平日です。
- (河盛委員) 健康大学の救急に関する一般公開講座は毎回同じ講義内容なので、1回来た人はもうこないですよ。救急の吉永先生はもうずっときてもらっていますよね。
- (事務局瀬戸山) この事業は医師会に委託しているので、講義内容については医師会と相談していきたいと思っています。
- (事務局北口) 公開講座の救急講師の吉永先生は、9月9日の救急の日の催しという意味合いもあり、毎年実施しております。一度こられても、また来たいと思ってもらえるような内容にしていく必要があると思います。
- (事務局久保田) 特定健診と特定保健指導の担当の久保田です。先ほどご質問のありました、特定保健指導ですが、芦屋市国民健康保険に加入しております、40～74

歳までの方に特定健康診査の受診を案内し、その健診結果の一定基準値にあたる方に、特定保健指導の利用券を発行し、保健指導をすすめるという制度です。

芦屋市国民健康保険では、特定健康診査特定保健指導実施計画を策定し、平成20年から24年までの計画を定めています。平成24年度には、計画を評価、見直しを行いあらたな計画を策定して保健指導を行う予定にしています。また、国民健康保険の加入の方は、自営業の方も多く、全国的に受診率については、低調な状態であり、保健指導の利用率も10%前後となっております。

(立花委員長) ありがとうございます。

(多田羅委員) 1歳半と3歳児の要観察者は、重複する児がなっているのですか。

(事務局瀬戸山) 完全に重複はしていません。1歳半でフォローされている方が3歳でフォローされる場合もありますが、1歳半でフォローされた結果3歳児健診では、問題なしになる場合もあります。心理相談員も入って相談を行っています。

(多田羅委員) 歯科健診の結果なのですが、一人あたり6.4本と多いのですが、間違いでもないようですが、急に多くなっていますよね。

(事務局瀬戸山) 全体の虫歯が増えたわけではなく、虫歯の多い児が一人いて、数字が増えたためと思います。

(立花委員長) ほかにありませんか。

それでは議題1をこれで終わります。次に議題2をお願いします。

(事務局瀬戸山) それでは議題2「平成23年度保健センター事業について」ご説明いたします。

#### (資料2説明)

(立花委員長) ありがとうございます。ただいまの説明にご質問・ご意見ありませんか。

(広瀬委員) 障害者歯科診療についてですが、このチラシの具体的な配布方法を教えてください。

(事務局北口) 予算が議決される3月24日以降に配布する予定ですが、チラシの配布場所は、歯科医師会の医療機関や公共機関等、福祉センター等に置きたいと思えます。

(広瀬委員) 診療の対象者ですが、チラシでは市内在住という記載がないのですが、市としては意識的に在住の表記をしなかったのですか。

(事務局北口) 条例では、特に市内在住者のみと規定しておりませんが、最初はどの程度の希望があるか分かりませんので、様子を見てからと思っています。

(広瀬委員) 後から広げるのはいいと思いますが、最初に制限をしないで、後から芦屋市民のみとするのはどうかと思いますが。

(多田羅委員) 特別支援学校の児は、大部分が芦屋以外の児と思うので、それはかまわないと思いますが、それ以外にも受け入れるということですか。

(事務局北口) 原則的には、市内在住者、市内施設・学校の在籍者と考えています。

(広瀬委員) 神戸市は、今長田区でやっているの、灘区・東灘区の方は、芦屋の方が近いので、こちらにくると思いますよ。

(多田羅委員) 後からゆるめるのはかまわないので、やはり、最初はしぼりをかけたほうが良いと思います。

(事務局北口) それでは、このチラシの対象者に市内在住、市内施設・学校等の在籍者を入れたいと思えます。

(立花委員長) それでは、市内在住・市内通学者ということでよろしいですね。他にはありませんか。

議事2もこれでおわりましたが、その他ということで何かございますか。

(事務局瀬戸山) この保健センター運営審議会の委員の皆様の任期が3月末までとなっています, 2年間どうも有難うございました。

(立花委員長) それでは, 2年間お世話になりました。貴重な意見をいろいろとありがとうございました。

【閉会】